

キャット・フrendリー・クリニック



動物病院に猫を連れて行く

多くの場合、猫にとって動物病院はストレスとなります。猫は本来独立精神が強く、慣れない場所で緊張し、周囲の状況を把握しようとし、普段とは違う匂いに敏感です。こうした猫本来の習性からみても、動物病院への通院は飼い主と猫の両者にとってストレスの多いものです。そこで今回は、ストレスを軽減するための「コツ」をいくつかご紹介し、改善できるポイントについて解説します。

良い動物病院を探す

まずは、猫について深い知識や理解があり、来院する猫のストレスを軽減するよう努めている病院を探しましょう。International Society of Feline Medicine (ISFM) が認定するキャット・フrendリー・クリニックの基準を満たした病院を探すにより良いでしょう。



最適な猫用キャリーを選択する

- 常に適切で頑丈なキャリーを選びましょう。
- 掃除が容易にできる材質（プラスチック製や樹脂コーティングが施されたものが好ましい）を選びましょう。
- キャリーの上部が開くタイプの方が、猫を優しく出し入れできるため便利に使えます。
- 移動中に猫が落ちていないように、布かタオルでキャリーを覆ってあげましょう。
- 車内の足元に置かず座席の上にシートベルトを使ってキャリーを固定し、動かないようにしましょう。
- タオルやパッドを用いて、キャリーを水平に保ち、万が一のときの排泄物もこれで吸収させられます。
- 病院に到着したら、慌てて行動しないようにします。猫をキャリーに入れたまま慎重に抱えます。キャリーを振ったり、物や飼い主の足にぶつけないようにしましょう。

慣れ親しんだ匂いは、猫のストレスを軽減してくれます

- キャリーが「家具のひとつ」になっていることが望ましいです。眠ったり、食事をする場所の一つであることが理想的です。そうすることで、病院に行くときだけ出てくる！という怖いものになりません。
- 自宅で普段寝るときや、休むときに使っている寝具を、キャリーの中に入れておきます。
- 猫がお気に入りの飼い主の衣類があれば、それもキャリーの中に入れておきます。
- 柔らかい布で猫の顔を拭いて、その布をキャリーにこすり付けます。そうすることで、猫の匂いをキャリーに付けることができます。特にキャリー四隅にこすりつけ、その布も中に残します。
- 車に乗せる30分以上前にキャリーにフェリウェイ® をスプレーします（猫を落ち着かせる効果がある合成フェロモン製剤で、動物病院で入手できる可能性があります）。
- キャリーを見て猫がパニックをおこしたら、慣れたニオイのついた厚手のタオルか毛布で猫をつつみ、すばやく、でも優しく猫をタオルごとキャリーにいれましょう。
- 猫がキャリーの中で気持ち悪く吐き気を催したり、排泄して汚してしまったりする場合に備えて、自宅の匂いがついたタオルや毛布の予備を持参すると良いでしょう。



待合室にて

病院の施設や設備、スタッフは病院によって異なり、全く同じ動物病院はありません。ISFMのキャット・フレンドリー・クリニックに認定された病院を探して以下のものを確認して下さい。

- ・ 猫専用の待合室、待合室の中で犬と猫の区画が分かれている、あるいは猫専用の診察時間を設けている。
- ・ 待合室に棚や床よりも高い場所に、キャリーを置くための台などが設けてある。

待合室ではできるだけ静かな場所を選び、キャリーは猫が他の人に見られないようにカバーをしましょう。もし猫がとてもストレスを感じている場合には、獣医師の診察を受けるまで車の中で待機しましょう。



診察室にて

- ・ ISFMに認定されたキャット・フレンドリー・クリニックは、スタッフ全員が猫に対して、穏やかに愛情を持ち、且つ専門的なスキルをもって接することができます。
- ・ 猫は病院で落ち着くまでに時間がかかることが多いです。そのため、スタッフは必要なだけ待ちます。
- ・ 猫をおさえる必要がある場合は、獣医師は必要に応じて看護師かアシスタントに依頼しますので、心配はいりません。
- ・ 獣医師が説明する内容が理解できない場合は、納得できるまで説明を求めましょう。
- ・ 薬を与えることに不安がある場合は、獣医師、看護師またはアシスタントに投薬方法を実践して貰い、コツの説明をしてもらいましょう。別紙「猫に薬を与えるには」もご参照ください。

入院

様々な理由により、時として入院しなければならないことがあります。ISFM 認定のキャット・フレンドリー・クリニックは一定の基準を満たしているため、猫の入院環境を見せてもらうことを躊躇する必要はありません。また以下のことも確認しましょう。

- ・ 静かで落ち着いた猫専用の入院室、または入院する動物を扱う猫専用の区画があること。
- ・ 入院室は頑丈、清潔、安全で十分な広さがあること。猫の柔らかいベット、トイレ、ごはんなど十分な間隔をもって設置されていること。
- ・ 猫が隠れるのに適した箱や快適な寝具が用意されていること。
- ・ 自宅の匂いがついた寝具を自宅から持ってきた際に、それを使用してくれる病院であること。
- ・ ある程度の期間入院する場合は、面会について確認しましょう。

International Cat Care (www.icatcare.org)とは、50年以上に渡って、世界中の飼育されている猫および野良猫へのケアや、思いやり・理解を深めることを目的とした活動をしているチャリティ団体です。我々は獣医療部門であるISFMを通じて、獣医師と協力しています。我々の活動は全て寄附金によって、行なわれています。



ISFMとは、国際的な猫のチャリティ団体であるInternational Cat Careの組織の1つで、イングランドおよびウェールズで登録されているチャリティ団体である。チャリティ番号117342

